

国際交流のひろば



各種奨学金に関する説明会

7月1日(水)12時15分から、オンラインにて、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金説明会を実施しました。学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする留学生に対し、修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「JEEES日本語教育普及奨学金」等の来年度に向けた募集や詳細について近藤留学生支援専門部会委員から説明しました。

留学説明会

7月30日(木)12時10分から人104において、日本人学生を対象に、本学と協定を締結している海外の大学についての情報提供を目的とした留学説明会を開催しました。

周東協定校交流推進専門部会長から協定校の紹介があり、「海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などの奨学金制度について、国際交流・地域連携チームから説明しました。



修了生からの手紙

平成31年3月に修了し、マラウイでご活躍されているアルフレッドさんからお手紙が届きました。

平成30年度教員研修留学生 インテンペヌゼニ・アルフレッド(マラウイ)

こんにちは。お元気ですか？私は元気です。私が日本を去ってから今日で515日目です。家族なしで1年半暮らした後、マラウイに帰ることにとっても興奮しました。同時に、友達や大切な思い出をたくさん残して、日本を離れることが辛かったです。美味しい食べ物、美しい風景、フレンドリーな人々、そして日本の素晴らしい文化は私が最も恋しいものです。

現在、マラウイは冬です。寒いですが、日本の冬ほど寒くないです。covid-19のためにマラウイに戻って以来、人生は異なっていて辛かったです。covid-19で約100人が亡くなりました。学校は今年の4月以来閉鎖されたままです。多くの企業が廃業し、経済に影響が出ています。私たちは困難な時代にありますが、物事がすぐに変わることを期待しています。人々は、マスクの着用、石鹸で手を洗う、ウイルスの蔓延を制御するために社会的距離を観察するなどの予防策を講じようとしています。

今年、私たちの国で大統領選挙があり、そこで新しい大統領が選出されました。彼の名前はラザロチャクウェラ博士で、彼は私の国に変化をもたらすことを約束しました。

日本から帰国したときの夢は、修士号を取得して大学の教授になることでしたが、大学が閉鎖されたため、私はそれらの計画を保留しなければならませんでした。もう4か月間仕事を休んでいたため、忙しくするために養鶏を始めました。現在、300頭のブロイラーチキンがあり、完全に成長したら販売する予定です。そのお金を使って、covid-19の予防のためにマスクと石鹸で貧しい人々を助けるつもりです。皆さん、ありがとうございます。お元気です！



野生のキリンを見ながら

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)